



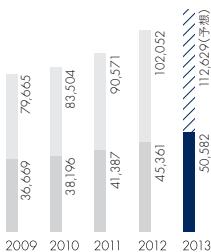
東 矢 通 信

第二十六卷

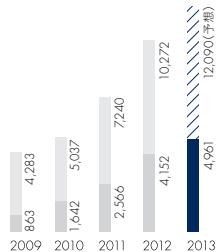
2012.4.1—2012.9.30

財務ハイライト 3月31日に終了した1年間

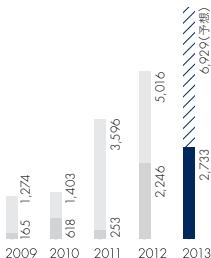
売上高

百万円
■ 第2四半期 ※ 通期

経常利益

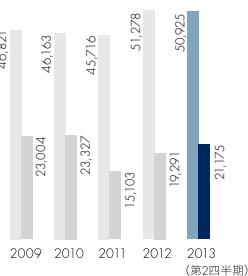
百万円
■ 第2四半期 ※ 通期

当期 (四半期) 純利益

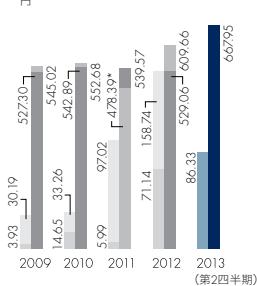
百万円
■ 第2四半期 ※ 通期

総資産／純資産

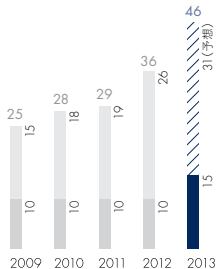
百万円

1株当たり当期 (四半期)
純利益／1株当たり純資産

円



配当金

円
■ 第2四半期 ※ 通期

* 2011年3月期下半期において、発行済株式総数の25.00% (当時) に当たる10,700,000株を自己株式として取得したことに伴う株主資本の減少により、2011年3月期の1株当たり純資産は同第2四半期より減少しました。

Contents

- 01 財務ハイライト
- 03 社長メッセージ
- 08 特集 新チャネルへの展開
- 11 ビジネスレビュー
- 17 トピックス
- 18 CSR情報
- 19 連結財務諸表
- 23 株式データ
- 24 株主メモ
- 25 会社情報
- 26 お知らせ

将来予測に関する記述についての注意事項

当報告書の業績予想に関する記述および客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願い申し上げます。

実際の業績は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどにかかわるさまざまな要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

社長メッセージ



2013年3月期上半期は厳しい外部環境に置かれてきましたが、さまざまな施策を推進した結果、上半期として最高の売上高・利益を更新することができました。これもお客様、株主様をはじめとする皆様のご支援の賜物と深くお礼申し上げます。また、この度経営理念の一部を改定しました。今後は新理念のもと、「この会社を100年以上存続し、将来的には世界に通用するような企業にする」ための体制・仕組み作りを行ってまいります。

Q 2013年3月期上半期を振り返って、どのように評価されていますか。

当上半期は、一部商業施設におけるセール開催時期の分散化や厳しい残暑による秋物商品の動向遅れなど、売上や利益を大きく左右する外部要因がありました。しかしながら、商品・販売・宣伝部門の連携サイクルの強化と、商品プラットフォームの推進に基づき、その時々状況に応じて柔軟で迅速なMD（商品計画）の軌道修正を行った結果、小売+ネット通販既存店売上高前期比（単体）は101.6%と堅調な成長を遂げることができました。中でも、商・販・宣の連携強化の成果が如実に現れた「クロムハーツ」や「アナザーエディション」の成長が著しく、業績をけん引しました。

新チャネル戦略の進捗としては、「ザ ハイウェイ ストア ユナイテッドアローズ」「ザ ステーション ストア ユナイテッドアローズ」*がスタートから1年弱が経ち、お客様から想定以上のご期待をいただいています。まだまだ細かい課題はありますが、これを切り口として、新しい層のお客様との接点を拡大し、さらなる価値提供をしていきたいと考えております。

これらの結果、上半期として過去最高となる連結売上高50,582百万円（前年同期比111.5%）、経常利益4,961百万円（同119.5%）、四半期純利益2,733百万円（同121.7%）を達成することができました。

*「ザ ハイウェイ ストア ユナイテッドアローズ」「ザ ステーション ストア ユナイテッドアローズ」については、8ページの特集にて詳しくご紹介しています。

Q 下半期の取り組みと中期経営目標の見通しについてお聞かせください。

経営方針に大きな変更はありません。引き続き商・販・宣の連携強化と、基本に立ち返って営業活動に係るすべての領域において緩みが生じていないかの再点検を行います。

商品面での取り組みとして、オリジナル企画商品の開発力・品質の向上を目的に、東京・赤坂の本部オフィスに企画資料室とアトリエをオープンしました。企画資料室では、19世紀からの国内外における生地見本、サンプル、書籍など非常に貴重な資料を取りそろえており、企画担当者のアイデアソースに活かします。アトリエは、デザイン画、パターン、サンプルの作成を行うための社内工房です。従来、サンプルは取引先様との協業で作成することによる時間的な制約から、1～2回の確認・修正で仕上げていました。サンプルを社内で作成することで、同じ時間内でも自分たちで納得のいくまで微修正を繰り返し、結果として完成度の高い商品に仕上げることが出来ます。アトリエを活用して創り出した商品は、この秋冬にも「ユナイテッドアローズ」ウィメンズの一部で展開が始まっており、早くも好反応を得ています。今後はさらなる有効活用を目指します。

今期は期初に掲げた目標を上方修正し、連結売上高112,629百万円（前期比110.4%）、経常利益12,090百万円（同117.7%）、当期純利益6,929百万円（同138.1%）という前期を超える過去最高益の更新を目指します。なお、昨年11月に発表した2014年3月期を最終年度とする中期経営目標については、「連結経常利益115億円以上」は1年前倒しし、今期に達成する見込みです。「連結売上高1,200億円、連結ROE20%以上」は引き続き目標に据えながら、来期中に新中期計画を策定する予定です。

Qこの度、経営理念が改定されました。この理念に込めた思いや意気込みを教えてください。

私が社長就任の際に目標として掲げた「この会社を100年以上存続し、将来的には世界に通用するような企業にする」ための第一歩の取り組みとして、経営理念の内容の一部を改定*しました。創業当時の志である「日本の生活文化の規範となる



価値観の創造」を受け継ぎ、これからは世界に通用する企業ブランドとなるために、「私たちは、世界に通用する新しい日本の生活文化の規範となる価値観を創造し続けます」と、表現を改めました。

理念の実現は、お客様との信頼関係なしには達成し得ません。そのため、これまでは私たち従業員が守るべき掟（おきて）としていた「束矢ルール」＝「店はお客様のためにある」を「社是」としてその位置付けを変更しました。日々のお客様とのやり取りから経営判断に至るまですべての企業活動や判断の軸にこの「社是」を据え、未来永劫徹底し続ける所存です。今後はこの新しい理念を軸に、磐石な経営体制の構築や安定成長を遂げていくための仕組みの推進など、会社が永続していくためのベース作りに向けた取り組みを行ってまいります。

* 経営理念の改定については、次ページにて詳しく紹介しています。

株主の皆様には、ユナイテッドアローズグループの今後にご期待いただき、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2012年12月
代表取締役 社長執行役員

竹田光広

経営理念が改定されました

経営理念の内容の一部が改定されました。理念そのものや根幹に変更はなく、創業以来掲げ続けている志を、今の時代と会社の方向性に合致するよう分かりやすく表現し直したものです。

全従業員に配布された「理念ブック」は、新経営理念が描かれた「VISION」、従業員の声を集めた「VOICE」、当社らしい風景というテーマで従業員から寄せられた写真を構成したビジュアルブックの「VISUAL」の3冊から成ります。今回の「理念ブック」制作に当たり、当社をひとつの国と考え、「ユニテッドアローズ国勢調査」として全従業員から声を募りました。「仕事を通して一番成長したこと」「会社の中で好きな社員は誰か」「会社の好きなところ」「会社の良かった試み」のほか、「会社の嫌いなところ」「仕事の中で一番の悩み」といったところにも踏み込み、「ユニテッドアローズとはどんな会社なのか?」という輪郭を浮き彫りにしました。この3冊には、何かの判断に迷ったときには理念に立ち返り、従業員一人ひとりの声や写真の中に解決の糸口を見つけてほしい、ユニテッドアローズで働く自分を突き詰めてほしいという思いが込められています。



「理念ブック」

- 左：新経営理念が描かれた「VISION」
- 中央：従業員の声を集めた「VOICE」
- 右：当社らしい風景の写真で構成された「VISUAL」

新経営理念の内容については、IRサイト「経営理念」にてご紹介しております。

www.united-arrows.co.jp/ir/index.html

特集

新チャネルへの展開

「ザ ステーション ストア ユナイテッドアローズ」

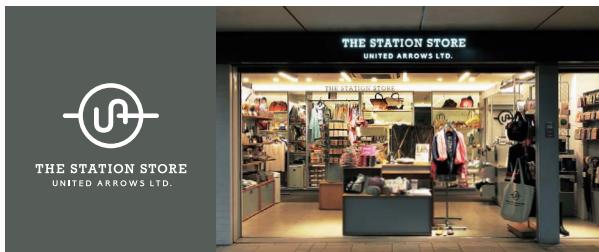
「ザ ハイウェイ ストア ユナイテッドアローズ」



当社では、お客様との接点拡大を目指すための新たな出店戦略として、空港、駅ナカ・駅チカ、高速道路のサービスエリアといった通行量の多い交通チャネルへの出店を推進しています。今回の特集では、その中の「ザ ステーション ストア ユナイテッドアローズ」「ザ ハイウェイ ストア ユナイテッドアローズ」についてご紹介します。

「ザ ステーション ストア ユナイテッドアローズ」

<http://www.united-arrows.co.jp/station/>



店舗一覧：エチカ表参道店、エチカフィット東京店、エチカフィット銀座店、阪急三番街店

「ザ ステーション ストア」は、毎日通る通勤・通学路や休日のおでかけの途中にあり、気軽に立ち寄ってすぐに見える商品を取りそろえています。急な雨の日には傘やレインコート、結婚式に向かう日にはご祝儀袋やバッグなどの緊急性の高いアイテムのニーズが高まります。また、美容院に行った後の新しいヘアスタイルに似合うアクセサリ、手軽にその日の気分を変えられるワンピースやシューズなどのアイテムが人気です。

OL、主婦を中心とする女性のお客様のご来店が多く、もともと当社のブランドをご利用の方が、目的地へ向かう途中で気軽に利用される傾向があります。オープン当初は雑貨が売上の軸になると見込んでいましたが、実際は衣料品やアクセサリーのニーズが高いことが分かりました。今後は、ファッション衣料や男性のお客様に向けた商品の拡充、圧倒的なご来店数に対応するための、さらに見やすい買いやすいお店作りなどを進めてまいります。



その日の気分を簡単に変えられるアクセサリ、ワンピース、カーディガン、シューズなどが人気。この秋、「ステーションストア」のオリジナル企画レーベル「クローゼット ストーリー ユナイテッドアローズ」がスタート。大人の女性に向けて、フレンチシックをベースに高品質で程良いトレンド感のあるアイテムを中心にラインナップ。

「ザ ハイウェイ ストア ユナイテッドアローズ」

<http://www.united-arrows.co.jp/highway/>



店舗一覧：エクスパーサ海老名店、ネオパーサ清水店

目的地への高速道路ドライブの途中、休憩やガソリン補給といった用件を済ますだけでなく、サービスエリア自体を楽しみたいというお客様が増えています。「ザ ハイウェイ ストア」では、そのようなお客様の思いにお応えし、衣料品や雑貨などを展開しています。お父さんには長時間ドライブへの感謝の気持ちを込めてポロシャツを。かわいいお孫様にはおもちゃやTシャツなど、おじいちゃんおばあちゃんの財布の紐が緩むことも。お土産としてロゴ入りグッズも人気です。ネオパーサ清水店では、日本初のフレンチトースト専門店「ロンカフェ」とのコラボによるカフェも併設しており、大きな話題を集めています。

「ザ ハイウェイ ストア」には幅広い層のお客様が来店されるため、当社をご存じでない方との最初の接点となる役割も果たしています。今後は、マーケット特性に応じたさらに価値ある商品の開発や店舗運営の効率化などを目指してまいります。



ギフトやお土産ニーズが高く、「ハイウェイストア」ロゴ入り商品が人気。写真左の「ハイウェイ グラフィックシリーズ」は、バッグやポーチ、ドリンクボトルなどポップでキュートなデザインで、今すぐどこかへ出掛けたいような気分。写真右はかわいい缶入りチョコレート。「ダークチョコレート ピスタチオ」「タピチアン バニラキャラメル」の2種類を展開。

Business Review

ユナイテッドアローズ事業

ビジネスユニット

小売+ネット通販既存店

売上高前期比

109.6%

売上高前期比

100.4%

UNITED ARROWS

ユナイテッドアローズ



2012年秋冬シーズンビジュアルより引用

「ユナイテッドアローズ」では、オリジナル企画商品力の強化に努めた結果、メンズでは、リネンシャツ、鹿の子シャツ、パンツなどのビジネスカジュアルアイテム、ウィメンズでは、トレンチコート、ニット、パンツなどの定番アイテムにヒットが生まれました。販売部門では、店頭陳列力強化を目的とした勉強会を定期的に行い、快適で洗練された店舗環境作りにつなげました。

百貨店戦略の動向としては、「大丸東京 ウィメンズストア」（東京都千代田区）、「そごう横浜 ウィメンズストア」（神奈川県横浜市）をオープンしました。ライセンス事業では、遠鉄百貨店（静岡県浜松市）、成田国際空港第2旅客ターミナルビルの免税エリアで「ウィズ ユナイテッドアローズ」がスタートしました。



UNITED ARROWS

BEAUTY&YOUTH UNITED ARROWS

ビューティ&ユース ユナイテッドアローズ



2012年秋冬シーズンビジュアルより引用

「ビューティ&ユース」では、商品・販売部門の連携を強化し、適時適量の商品計画を推進しました。その結果、メンズでは、ベスト、パンツ、七分袖のシャツ、ウィメンズでは、スキニーパンツ、レースニットなどのヒットにつながりました。ネット通販限定で展開したメンズアイテムが若年層を中心に好評を得たため、一部の実店舗での取り扱いも開始しています。宣伝部門では、カタログや店頭イベントなどの広告宣伝施策を積極的に行い、入店客数や売上拡大の下支えをしました。

9月には、メンズオリジナルレーベル「モンキータイム」初の単独展開店舗となる「モンキータイム ビューティ&ユース ユナイテッドアローズ 新宿店」（東京都新宿区）がオープンしました。

BEAUTY & YOUTH
UNITED ARROWS

ユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング事業

ビジネスユニット	小売+ネット通販既存店
売上高前期比 108.3%	売上高前期比 98.6%

UNITED ARROWS green label relaxing



2012年秋冬ジャケットプロモーションビジュアルより引用

「グリーンレーベル リラクシング」では、一部商業施設におけるセール開催時期の分散化に伴う長期化や厳しい残暑の影響を受け、小売+ネット通販既存店売上高前期比は若干前期を下回りました。主な取り組みとしては、アイキャッチのある内装や店頭演出、スタイリング提案を明確に打ち出す商品陳列の強化を行い、店舗環境の感度を高めました。宣伝部門では、新聞折込広告とフェイスブックなどのソーシャルメディアを連動させた広告宣伝活動を行い、お客様の購買意欲向上につなげています。

4月の高松店オープンの際には、出店先の「丸亀町グリーン」屋上ガーデン施設のコンセプト・デザインプロデュースにも参加しました。街と商業施設の共存の在り方や考えに配慮したガーデン作りに携わり、地域の皆様へ貢献することができました。



クロムハーツ事業

ビジネスユニット	小売既存店
売上高前期比 117.6%	売上高前期比 109.4%

CHROME HEARTS



2012年秋冬シーズンビジュアルより引用

「クロムハーツ」では、定番のシルバー & レザーのアイテムに加え、シューズ、シャツ、カット、バッグ、財布、ビーズプレスレット、アイウェアなどが好調に推移しました。好調の背景には、米クロムハーツ社との連携強化による日本のマーケット特性に応じた商品開発に加え、30～40代の男性を中心とした長年のクロムハーツファンのお客様からの絶大な支持などの要因が挙げられます。

女性のお客様獲得に向けた広告宣伝施策として、女性ファッション誌への広告出稿や、9月に東京 表参道・青山・原宿エリアで開催された「ファッションズ・ナイト・アウト2012」へ参加し、店頭でイベントを開催しました。東日本大震災後、一時的に減少傾向にあった訪日外国人のお客様のご来店も増加傾向にあり、その売上も回復しています。



スモール ビジネス ユニット (S.B.U.) およびUAラボ

ビジネスユニット	小売+ネット通販既存店
売上高前期比	売上高前期比
116.6%	106.0%

SBU's and UA LABs



アナザーエディション 2012年秋冬シーズンビジュアルより引用

S.B.U.およびUAラボでは、ウィメンズのカジュアルウェアを展開する「アナザーエディション」が商品・販売・宣伝部門の連携強化により好調に推移しました。商品部門は、販売部門の声をもとに強化アイテムを設定し、その在庫を十分に準備しておくことで、商品の安定的な供給につなげました。さらに、宣伝部門が強化アイテムを中心とした広告宣伝活動を行い、販売部門がそれらの商品を分かりやすく店頭で打ち出すことで、サルエルパンツ、ブルゾンなどのヒット創出につなげました。

新チャネル戦略として、高速道路のサービスエリアに展開する「ザ ハイウェイ ストア ユナイテッドアローズ」が、4月に新東名高速道路清水PAの商業施設「ネオパーサ清水」に出店しました。セレクトショップがPAに進出する先駆性や話題性により、オープン当初から大きな注目を集めています。

連結子会社の概況

CONSOLIDATED SUBSIDIARIES

株式会社フィーゴ

イタリア製革小物ブランド「フェリージ」の小売・卸事業を行う(株)フィーゴでは、イタリア・フェリージ社からの商品の納期遅れ改善に向けた取り組みを推進し、安定的な商品供給に努めました。小売事業では、5月にオープンしたそごう横浜店、8月にオープンした丸の内店が好調に推移しました。特に丸の内店では、女性のお客様を中心に人気を集めています。



2012年秋冬シーズンビジュアルより引用

株式会社コーエン

メンズ、ウィメンズのカジュアルウェアを展開する「コーエン」では、商品計画や在庫の管理徹底などの商品力向上に取り組み、在庫切れに



2012年秋冬シーズンビジュアルより引用

よる販売機会ロスの極小化、値引き販売の減少による利益率向上などにつなげました。新店の動向としては、東京スカイツリータウン・ソラマチ店(東京都墨田区)、お台場店(東京都江東区)が好調で、観光客だけでなく地域住民の皆様にも多くご利用いただいています。

(株)コーエンは1月期決算のため、当第2四半期の連結対象期間は、2012年2月～7月となります。

TOPICS

「モンキータイム ビューティ&ユース ユナイテッドアローズ」がスタート

「ビューティ&ユース」のオリジナル企画レーベル「モンキータイム」初の単独展開店舗「モンキータイム ビューティ&ユース ユナイテッドアローズ」が、9月にルミネエスト新宿店（東京都新宿区）にオープンしました。同店舗では、ファッションを通じて個性や独創性を表現したい男性向け、トレンドのデザインとテイスト、素材感とサイジングにこだわった衣料品やアクセサリーなどの服飾雑貨を展開し、エッジが効いたアイテムからベーシックなものまで幅広く取りそろえています。

monkey time

BEAUTY & YOUTH
UNITED ARROWS



2012年秋冬シーズンビジュアルより引用

テレビCM「恋するレーベル」がACCゴールドを受賞

「ユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクスing」が昨年秋に展開したテレビCM「恋するレーベル・101回目のプロポーズ」が、「第52回 ACC CMフェスティバル」テレビCM部門において、ACCゴールドを受賞しました。

「ACC CMフェスティバル」は、社団法人全日本シーエム放送連盟（通称・ACC）が主催する年に一度の国内最大の広告賞です。今回のテレビCM 部門では、応募本数1,385本の中から、総務大臣賞/ACCグランプリ2本、ACCゴールド8本が選出されました。他社では、サントリーホールディングス株式会社「BOSS シリーズ」、トヨタ自動車株式会社「ドラえもんシリーズ」などがACCゴールドを受賞しています。



テレビCM「恋するレーベル・101回目のプロポーズ」編

CSR情報

ピンクリボンキャンペーンを開催

ユナイテッドアローズは、乳がん月間の10月に、乳がんの早期発見、診断、治療の大切さを呼びかける「ピンクリボンキャンペーン」を実施しました。売上の一部が乳がん検診の啓発活動などに役立てられる商品の販売のほか、ツイッターやフェイスブックを使ったチャリティ募金、乳がんのセルフチェック方法をご紹介したリーフレットの配布、キャンペーンウェブサイトの開設などを行いました。

乳がんは、日本の女性16人に1人がかかると言われています。しかし、自分で見つけることができ、早期の発見に至ればおよそ90%以上が治るとも言われています。月に一度のセルフチェックや医療機関での定期的な受診が重要であり、多くの方の実践のきっかけになればと、当社では2008年より継続して啓発キャンペーンを開催しています。

ピンクリボンキャンペーン特設ウェブサイト
www.united-arrows.co.jp/special/pinkribbon

PINK RIBBON CAMPAIGN

ユナイテッドアローズ ピンクリボンモンキー

人気のモンキーストラップに、ピンクリボンのチャームが付いたスペシャルバージョンが今年も登場。プチプレゼントにもぴったり。(税込店頭販売価格924円)

ビューティ&ユース ユナイテッドアローズ ピンクリボンポーチ
ピンクリボンスペシャルポーチ。クリスタルビーズでハートをデザイン。(税込店頭販売価格2,415円)

ジュエルチェンジズ ランチトートバッグ

人気の定番オリジナルランチバッグがキラキラ装飾つきのピンクリボンスペシャルカラーで登場。(税込店頭販売価格3,675円)



上記商品の売上の一部が寄付金として計上されるのは10月の販売分のみです。一部の商品は11月以降も継続して販売されますが、在庫がなくなり次第終了となります。売り切れの際はご容赦くださいますようお願い申し上げます。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)

たな卸資産の効率化が進む

業容の拡大に伴いたな卸資産なども増加しています。しかしながら、売上高が前年同期(2011年9月末)比111.5%であるのに対して、たな卸資産は同108.2%と効率化が進んでいます。

長短借入金残高は前年同期比 71.3%の9,744百万円

流動負債は、前期末(2012年3月末)比97.7%の25,099百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が2,265百万円、短期借入金が1,400百万円が増加した一方、未払金が574百万円、未払法人税が2,422百万円、賞与引当金が779百万円がそれぞれ減少したためです。

固定負債は、前期末比73.9%の4,650百万円となりました。これは、長期借入金が1,592百万円、役員退職慰労引当金207百万円がそれぞれ減少したことなどによります。

なお、長短借入金残高は前年同期比71.3%、前期末比96.3%の9,744百万円となりました。

純資産合計は前期末比109.8%の21,175百万円

利益剰余金が四半期純利益により2,733百万円増加した一方、配当金の支払により822百万円減少しました。

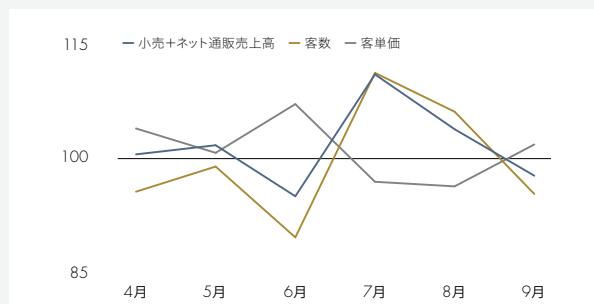
既存店売上高の動向

(株)ユナイテッドアローズの第2四半期(2012年4~9月)の既存店前年同期比は、小売+ネット通販売上高101.6%、客数99.8%、客単価100.5%*となりました。

当第2四半期は、一部商業施設や通販サイトなどにおいて、例年6月最終週頃にスタートになる夏季セールが、今年は7月1~2週目に後ろ倒しになったことで、結果としてセール期間の分散化・長期化が生じました。また、このセールの長期化と厳しい残暑の影響により、秋物商品の稼働も遅れる傾向にありました。当社はこの外部環境の中で、天候や販売状況に応じた柔軟な商品計画の軌道修正を行い、売上高・売上総利益を確保しました。

*客数、客単価は小売から算出しております。

単位：百万円	2012年3月期 第2四半期末 (2011年9月30日現在)	2013年3月期 第2四半期末 (2012年9月30日現在)	2012年3月期 (2012年 3月31日現在)
資産の部			
流動資産	30,191	32,469	33,207
固定資産	17,421	18,455	18,071
有形固定資産	8,323	8,688	8,685
無形固定資産	1,776	1,663	1,725
投資その他の資産	7,321	8,102	7,659
資産合計	47,612	50,925	51,278
負債の部			
流動負債	23,330	25,099	25,696
固定負債	7,562	4,650	6,290
負債合計	30,892	29,750	31,987
純資産の部			
資本金	3,030	3,030	3,030
資本剰余金	4,095	4,095	4,095
利益剰余金	21,155	25,500	23,600
自己株式	△11,504	△11,403	△11,463
株主資本合計	16,776	21,222	19,262
その他の包括利益累計額 合計	△56	△47	28
純資産合計	16,719	21,175	19,291
負債・純資産合計	47,612	50,925	51,278

既存店売上高・客数・客単価の推移
%

連結損益計算書(要約)

単位：百万円	2012年3月期 第2四半期累計 (2011年4月1日— 2011年9月30日)	2013年3月期 第2四半期累計 (2012年4月1日— 2012年9月30日)	前年同期比 (%)
	売上高	45,361	
売上原価	21,006	23,028	109.6
売上総利益	24,354	27,553	113.1
販売費及び一般管理費	20,246	22,663	111.9
営業利益	4,108	4,890	119.0
営業外収益	136	153	112.0
営業外費用	93	81	87.5
経常利益	4,152	4,961	119.5
特別利益	0	—	—
特別損失	193	687	354.5
税金等調整前四半期 純利益	3,958	4,274	108.0
法人税、住民税 及び事業税	1,614	1,295	80.2
法人税等調整額	97	245	252.7
四半期純利益	2,246	2,733	121.7

売上総利益率は前年同期比0.8ポイント改善の54.5%

セール長期化に伴う商品の値引きロスの増加があったものの、商品プラットフォーム活用による販売状況に応じた在庫の早期消化・高値換金の促進が功を奏しました。

積極的な宣伝販促活動で販管费率同0.2ポイント増加

戦略コストとして、雑誌、テレビCMなど積極的な販促施策を実施したことで宣伝販促費が増加しました。なお、宣伝販促費を除くその他のコスト(人件費、賃借料等)は前年同期比0.1ポイント改善しており、コスト効率は向上しています。

前年同期を上回る経常最高益を更新

売上高・売上総利益の増加、販管費の効率化により、営業利益、経常利益および四半期純利益とも2012年3月期第2四半期を上回る過去最高益を更新しました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

単位：百万円	2012年3月期 第2四半期累計 (2011年4月1日— 2011年9月30日)	2013年3月期 第2四半期累計 (2012年4月1日— 2012年9月30日)	2012年3月期 (2011年4月1日— 2011年3月31日)
	営業活動によるキャッシュ・フロー (小計)	3,841	2,930
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,112	△808	12,081
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,058	△1,212	△2,711
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,034	△1,140	△6,875
現金及び現金同等物の期末残高	4,491	4,805	7,966

営業活動によるキャッシュ・フローでは、税金等調整前四半期純利益4,274百万円、仕入債務の増加による収入2,265百万円などの収入があった一方、たな卸資産の増加による支出3,085百万円、その他流動負債の減少による支出1,378百万円、法人税等の支払額3,696百万円などの支出があったことで、808百万円のキャッシュ・アウトとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、新規出店および改装等に伴う有形固定資産の取得746百万円、差入保証金の差入による支出354百万円などがあったことで、1,212百万円のキャッシュ・アウトとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、短期借入金の純増加額1,400百万円などがあったものの、長期借入金の返済による支出1,770百万円、配当金の支払額818百万円などがあったことで、1,140百万円のキャッシュ・アウトとなりました。

現金及び現金同等物の期末残高は、4,805百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

百万円



株式データ 2012年9月30日現在

株主数	11,440名
発行可能株式の総数	190,800,000株
発行済株式の総数*	42,800,000株

*2012年9月30日現在、11,098,380株（発行済株式の総数の25.93%）を自己株式として保有していましたが、11月20日付でこのうちの5,000,000株（消却前発行済株式の総数の11.68%）を消却しました。これに伴い、同日付での発行済株式の総数は37,800,000株、消却後の自己株式数は6,098,380株（消却後発行済株式の総数の16.13%）となりました。なお、消却後の自己株式数は、2012年9月30日現在の自己株式数を基準に算出しています。

大株主

株主名	持株数 (株)	所有株式数の 割合 (%)
重松 理	3,362,800	7.85
株式会社イー・ディー・エス	2,000,000	4.67
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505104	1,645,799	3.84
三菱商事株式会社	1,627,700	3.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,323,100	3.09
栗野 宏文	1,283,000	2.99
岩城 哲哉	1,273,900	2.97
野村證券株式会社	1,001,170	2.33
株式会社麟蔵	969,600	2.26
株式会社ルコタージュ	800,000	1.86

株主メモ

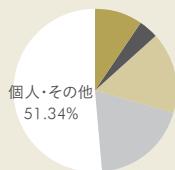
事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
公告方法	電子公告 やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
単元株式数	100株

株式事務のお手続きに関するご案内

株式事務のお手続き（住所、氏名等の変更、単元未満株式の買取・買増請求）については、株主様が口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。
未払い配当金の受取りのお手続き、株主優待券や配当金計算書の各種株式事務書類の発送状況等に関するお問い合わせは、三菱UFJ信託銀行本支店にて承ります。

所有者別分布状況（株式数）

	%
金融機関	9.72
金融商品取引業者	3.75
その他の法人	16.12
外国法人等	19.07
個人・その他	51.34



所有者別分布状況（株主数）

	%
金融機関	0.29
金融商品取引業者	0.31
その他の法人	0.40
外国法人等	1.44
個人・その他	97.56



IR情報に関するお問い合わせ先

株式会社ユナイテッドアローズ 計画管理室 IRチーム

電話 03-5785-6637

会社情報

会社概要 2012年9月30日現在

商号	株式会社ユニテッドアローズ UNITED ARROWS LTD.
本社所在地	東京都渋谷区神宮前二丁目31番12号
設立	1989年10月2日
資本金	30億300万円
従業員数	2,997名
事業内容	紳士服・婦人服および雑貨等の企画・販売
主要取引銀行	1 三菱東京UFJ銀行 2 三井住友銀行 3 みずほ銀行

取締役・監査役 2012年6月27日現在

取締役 会長	重松 理
代表取締役 社長執行役員	竹田 光広
取締役 専務執行役員	藤澤 光徳
取締役 専務執行役員	小泉 正己
取締役 常務執行役員	東 浩之
常勤監査役	酒井 由香里
監査役	山川 善之
監査役	橋岡 宏成

連結子会社

株式会社フィーゴ
株式会社コーエン

お知らせ

株主の皆様へアンケートご協力をお願い

株主の皆様へアンケートを実施させていただきたく存じます。お手数ではございますが、下記URLからアクセスし、アンケートへのご回答をお願いいたします。

2003年に誕生し、長年人気を誇るモンキーストラップ「ユニテッドアローズモンキー」に弟ができました。名前は「ジョッコボンゴ」。「ザ ステーション ストア ユニテッドアローズ」「ザ ハイウェイ ストア ユニテッドアローズ」店舗

での限定販売です。この「ジョッコボンゴ」を、アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で50名様に贈呈いたします。



アンケート実施期間 2013年1月31日まで
パソコンからアクセスされる場合
www.united-arrows.co.jp/ir/stockinfo/survey.htm
携帯電話・スマートフォンからアクセスされる場合
QRコード読み取り機能のついた携帯電話・スマートフォンをご使用の方は、こちらのQRコードからもアクセスできます。



- 「ジョッコボンゴ」は同じ色の2匹で1ペアです。色のご指定はできません。
- アンケートにご回答いただいた方の個人情報とご回答の内容に関しては、今後のIR活動に活かす目的以外には使用いたしません。
- 賞品発送の時期は2013年2月中旬とし、抽選の結果は当選者の方への発送をもって代えさせていただきます。

当社が「上場会社企業価値向上表彰」のファイナリストに

当社は、東京証券取引所が実施する「上場会社企業価値向上表彰」において、2012年度の企業価値向上表彰のファイナリストとして選出されました。企業価値向上表彰とは、企業価値を向上させるための経営を実践し、実際に企業価値の向上が実現していると認められた上場会社が表彰されるものです。当社のほか、エーザイ株式会社、HOYA株式会社、丸紅株式会社、三菱商事株式会社がファイナリストに選出されており、その中から1社が12月に大賞企業として表彰される予定です。



UNITED ARROWS LTD.